

家にねこがきた

千両小・2 羽部 せな

わたしといっしょにすんでいるおばあちゃんが、ほごねをもらってきました。ほごねことは、おうちがなくて、かいぬしがいないので、ほけんじよでくらしているねこのことです。

六月くらいに、おばあちゃんに、

「ねこをかいただけど、どうかね。」

と、聞かれました。わたしは、びっくりしました。でも、わたしもかいたいと思ったので、

「いいよ。」

と、答えました。家ぞくみんなが、かうことにさんせいしました。

それから毎日、ねこが来るのを楽しみにしていました。

七月になって、おばあちゃんのたん生日の夜に、ついに、おうちからねこがやってきました。おばあちゃんがつれて来たねこは、黒いしまもようの、はい色のねこでした。はじめて会った時に、わたしのゆびをはなでつんつんとさわってくれました。少しくすぐったかったです。

名前をきめる時に、お母さんが、

「なぎはどう。」

と、言いました。みんなが気に入ったので、名前は「なぎ」にきまりました。

なぎは、よく鳴くあまえんぼうです。どうぶつびょういんでけん

さをした時に、耳にダニがいるから、しばらくくすりをのんで、ダニがいなくなるまで、ゲージから出してはいけなと言われたそうです。おばあちゃんのへやでかうことになりましたが、リビングに聞こえるくらい大きな声で鳴きます。

わたしは、なぎのために、広くと毛糸をつかって、ねこじやらしを作りました。ゲージのすき間から手作りのねこじやらしを入れたら、あそんでくれたのがうれしかったです。ねこじやらしで、ずっとあそびたいです。

わたしが、

「ニャー。」

と言うと、なぎも、

「ニャー。」

と、言ってくれます。

ねている時は、手をゲージのすき間から出して、ねている時があります。とてもかわいいです。いつか、なぎといっしょにねたいです。

へやの中に出られるようになって、走り回っていました。すごく走るのがはやいです。いつも出したら、すぐはやく走っています。ねこじやらしでゆかをトントんとたたくと、ぜんぜん音がしないけど、来てくれます。

出たい時は、ゲージのすき間から、手を出して、おばあちゃんの手をすりすりしていました。おもしろいです。

わたしは、おばあちゃんにたのまれて、なぎの小やをダンボールで作りました。わたしが作ったダンボールの小やをなぎがよくずらすことがあります。ダンボールの小やの上にハンモックがあります。

ダンボールの小やをずらして、出られない時、ハンモックのところにジャンプします。

トイレをする時は、かわいいです。

しっぽもすぐく長いし、目もすぐくくりくりです。

おばあちゃんに、なぎは、二十年いっしょに生きると教えてもらったので、二十年いっしょにいられると思うと、すぐくうれいです。